



Numazu association for International Communications & Exchanges

—Vol.26—

発行日 1997年11月30日
発行者 NICE 沼津国際交流協会
(企画広報部会)
所在地 沼津市御幸町16番1号
(事務局) 沼津市役所国際交流室内
☎0559-34-2529



日本の医療を研修

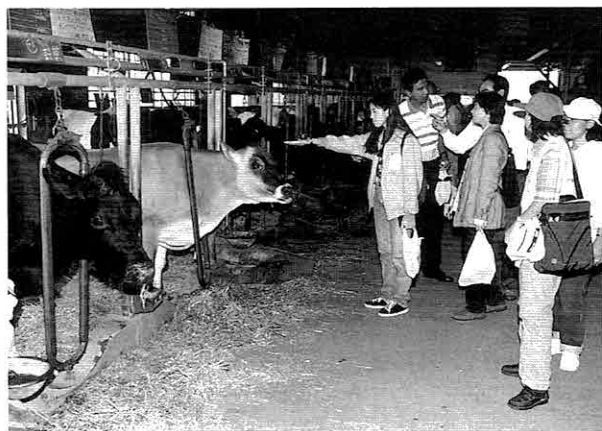
友好都市・岳陽市（中国）の看護婦・王本蘭さんと高昆岳さんが、9月から沼津市立病院で医療研修を受けています。形成外科、産婦人科、放射線科、手術室など各科で日本の医療の実態を3カ月間にわたって研修し、12月9日に帰国の予定です。

活動あれこれ

■タイ国の農業青年を受入れ

国際協力事業団の青年招へい事業で来日したタイの農業青年25名が、9月23日～10月2日にNICEの受入れで沼津を訪問しました。

青年たちは農協や農業高校、花卉栽培園、稲作農家、野菜・茶農家、青果市場などを視察訪問して日本の農業を学ぶとともに、ホームステイや柔道、弓道、剣道の日本武道も体験。「沼津の人たちはみんなあたたかくて、本当によかった」との感想をいただきました。



■盛況だった国際交流フェア



在住外国人と市民の出会い・交流・異文化体験の場として、9月28日、第一地区センターで国際交流フェア・NICE街'97を開催しました。

タイやインドネシアの料理の試食をはじめ、ステージではペルーや韓国などの舞踊、中国の楊琴演奏が披露され、民俗衣装コーナーではモンゴルやインド、日本の振りそでや紋付き袴などの試着も。茶道や華道、ハンディクラフトのコーナーにも多くの参加者が訪れていました。

■国際交流サロンでインドを体験！



諸外国の文化等を肌で感じる国際交流サロンの3回目「体験！インド」を、9月28日、第一地区センターで開催しました。

講師にシュクリシュナ・石井さん（岡一色、インド出身）を招き、40名の参加者らはインドの家庭料理の試食や民俗衣装の紹介などを通して風俗や文化について学びました。

■市内の名所をゲーム気分で探訪

10月19日、在住外国人と市民がチームを組んで市内を探訪する「街角オリエンテーリング」を開催し、外国人15名、日本人35名が参加しました。

出発地の中央公園で3～4名のチームをつくり、12組がスタート。バスや渡し船を利用してチェックポイントの千本プラザや御用邸記念公園、市立図書館などを訪問し、施設の見学や説明を通して理解を深めました。また、各所に関するクイズを解きながら楽しくゴールをめざしました。



活 動 あ れ こ れ

■スピーチコンテストは今年も話題豊富

語学力の向上と国際理解の推進のため、外国人は日本語で、日本人は英語で意見を発表する「英語&日本語スピーチコンテスト」を、11月9日、市立図書館で開催しました。

技術面以上に発表内容を重要視するこの大会は今年で6回目。「日本では料理をまず目で楽しみますが、私の国では鼻（香り）で楽しみます」「日本の高校生は夏でもルーズソックスをはいている…」とは、日本語の部で優勝したブルガリアのシルビア・ランゲロワさんの話題。英語の部は、国際交流を通じて得たものについて発表した秋田新隆さんが優勝しました。

入賞者は以下のとおりです（敬称略）。

○日本語の部

優勝 シルビア ランゲロワ
(ブルガリア、御殿場市)

「二カ月の日本観」

2位 チムール チョンムルノフ
(キルギス、静岡市)

「日本タイプの援助」

3位 李 洪国 (中国、沼津市)
「私とNICE」

○英語の部

優勝 秋田新隆 (静岡市)
「WHAT I GAINED THROUGH
INTERNATIONAL EXCHANGES」

2位 秋元陽子 (長泉町)
「MRS. ENDO'S ENGLISH CLASS
AND ME」

3位 加藤元章 (沼津市)
「JAPANESE BUSINESSMAN」



■王さん、高さんと秋の交流

岳陽市からの医療研修生との交流として、10月21～22日にバスツアーで京都を訪ね、金閣寺のライトアップや清水寺、古都伝統の時代祭などを見学しました。

また、11月3日には市民の森でバーベキューを行い、木立の中の散策やゲーム、歌などに興じ、親睦を深めました。



■中国料理に「真好吃！」

11月16日、第一地区センターで中国料理教室を開き、20名の参加者が中国の家庭料理づくりに挑戦しました。

講師に静岡市在住の岳陽市からの留学生・王郁輔さんと潘艶さんを招き、中国本場の食材と調味料を使いながら冷菜、水餃子、玉子とトマトのスープ、茄子と豚肉の炒め物を調理。試食会では「餃子の皮を均等に薄くするって難しい」「市販のものよりおいしい」「今度は自分の家族にもつくってあげたい」などの会話がはずんでいました。



TEA TIME

岳陽滞在記



富岳外国語専修学院に赴任して

——井上英雄（NICE会員）



友好都市・岳陽市（中国）にある湖南富岳外国語専修学院の日本語教師として9月に着任。

岳陽を訪れたのは3年ぶりのことですが、どうしてこれほどまでに急速に変化したのだろうかと思うほど道路は拡張整備され、新駅を中心に各方面に走るバスの路線も倍近くに増えていました。3年前、その偉容を南湖大道の一角に誇っていた国際大廈も、隣接する新しい近代建築の陰に隠れ、わずかに昔の面影をとどめている感じです。それほど次々と高層ビルが建ち並んで、街の様相は変貌していました。中国の開放・近代化政策の驚異的な発展の息吹きは、フランスに学び西洋文明を研究し、速やかに近代化を図るべきだと提唱し続けた故鄧小平の「三步走中国」の苦悩と昂揚の精神が、今ここに国民の意志の盛り上がり誘導して開花しようとしている姿がみられます。

ただ、大陸性気候特有の日中と朝夕の激しい温度差、そして信号無視の人の群れ、行き交う車の警笛やタクシーの客の呼び込みの警笛などは、以前と少しも変わっていません。中国が人口抑制のため晩婚を奨励し、一人っ子政策をとり続けながら、その子供たちが正しい教育を受けて成人する時、これらのルール無視もおのずから解消されていくことでしょう。

50数カ所もあった映画館も、テレビの急速な普及と多角的な番組の影響を受けて次々と姿を消し、商店の軒先に備えてあった撞球台（ビリヤード台）も取り除かれ、新たに改装された店舗が出現して、街並みを美しく変えつつあります。今では大きなホテルにボウリング場が設置されて、老若男女が嬉々として明るく楽しんでいる姿が見受けられるようになりました。デパートの店員や飲食店の従業員も、その接客ぶりは今ではすっかり変わって「お客様は神様だ」という日本の域に近づきつつあり、好感の持てる印象を受けました。

さて、私が赴任した学校は、2年前に対外国向け人材の養成を主眼として創設され、この9月に湖南省教育委員会から正式の認可が下りた3年制の外国語学校です。南湖の湖畔に面した小高い丘の上にあり風光明媚、そして閑静。教

育環境の場所としては最高の条件を備えているように思います。白色の壁と赤い洋式瓦の屋根が湖面に反映して、建物の姿をひととき美しくみせています。目下、生徒数は200名余り、ほとんどの生徒が学校の宿舎に入り、規則正しい生活をしています。1・2年生とも英語コースと日本語コースのクラスがあり、これに強化訓練の学生が加わっています。



近年、日本語のブームが盛んになりつつありますが、外国語に対する関心度は依然として英語が高く、これは世界の共通語に近いという特性と文法の類似点、加えて西洋文明の研究と吸収を優先するとなると、当然のことかもしれません。日本に対する思いは、同じ祖先を持つ一衣帯水の国、戦後20数年にして零から目ざましい発展を遂げ、世界の経済大国にのし上がった不思議な国との印象が強いのかもかもしれません。

生徒たちは純真そのもの、学習意欲旺盛で、教師の私に向ける目は一つも聞き漏らすまいとして輝いています。かつて高校で教鞭をとったことはありますが、その時に生徒たちがこれほどまでに目を輝かせて、じっと教師の講義に耳を傾けていたでしょうか。そんな過去の思い出と中国の生徒たちとを重ね合わせながら、自分自身の心を引き締めて教壇に立っています。

近い将来、この若者たちが、日本の若者たちと手を取り合って友好を深めていくことを考える時、何か微笑ましく感じます。ささやかではありますが、少しでも日中友好のお手伝いができれば幸いです。

〈10月1日、岳陽にて〉

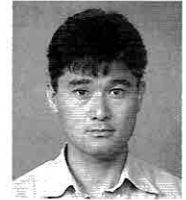
TEA TIME

カラマズー訪問記



FRIENDLY KALAMAZOO

—— 鈴木清光 (NICE会員)



私は静浦中学校の英語教師として、6月28日から2カ月間、姉妹都市のカラマズー市にあるウェスタンミシガン大学での研修に参加する機会を得た。研修内容はさておき、カラマズーの方々と過ごした様子を記したいと思う。

カラマズーに着いたその日から2日間、姉妹都市協会のボブ・ホール会長宅にステイ。芝生のある大きな庭と大きな家。映画によく出てくる風景に“まさしくここはアメリカだ！”と感激した。さっそく近所の娘さんの高校卒業パーティーに呼ばれ、バーベキューやダンスをして陽気に騒いだ。30人以上の方と“Nice to meet you”の握手。“Hey, come on KIYO”と、初めて会ったばかりの私に皆が声をかけてくれ、チキンサンドを食べなさいとか、ダンスをしようとかきさくに寄ってきてくれた。

この構えない自然なアメリカ人の人間関係が好きになり、緊張感もなくなり、いつのまにか自分からカラマズーの人たちと会話しているではないか。あげくには、向かいにある芝生のバレーコートを見て「一緒にバレーをしませんか」と私が誘ったところ、皆が集まってくるではないか。shyでかしくまっているよりも、自分から人の輪の中に入って楽しむというアメリカ的な人間関係を学んだような気がする。

こうして楽しくスタートし、翌週にはホールさんの美家のパーティーに同席。また、ベビーシャワー（生まれたばかりの赤ちゃんにシャワーのようにプレゼントを浴びせながらお祝いするパーティー）にも参加。ベビーシャワーとはよく言ったものだと感心した。

姉妹都市協会の方の紹介で自転車好きな方と知り合いになり、56kmもはなれたサウスヘブンまで4時間かけて走行。海のように大きなミシガン湖、そして灯台の素晴らしい景色を眺めて疲れも吹っ飛んだ。自分の足で広大なアメリカを蟻のごとく進む旅もまた格別だった。

私とは逆に沼津を訪問する団員の方たちにも会い、沼津の夏がどんなふうなのか話をして欲しいと頼まれた。そこでは彼らが夏祭の花火を楽しむにしていることも聞いた。

カラマズー交響楽団の野外コンサートへも連

れて行っていただいた。特にスターウォーズやムーンリバーなどのお馴染みの曲を、ここアメリカで星を眺めながら聞くという誠にロマンチックな夜を過ごした。



市役所に勤めるバーバラ・ブリセットさんがカラマズー市役所に招いてくれた。市議会にも案内され、傍聴席の前で私を紹介してくれた。このような席に呼ばれるとは思っていなかった。緊張したが、とてもフレンドリーな市長さんと握手を交わし、沼津の代表になったような気分。あらためて姉妹都市のこれからの友好について考えさせられた。

このほかにも、全米テニス選手権18歳の部を観戦したり、今夏に沼津を訪問して帰宅したばかりのグレッグ・ハーディ君の家族と釣りに行ったり、沼津市立高校で3年間勤務されて帰国したばかりのデレック・トリゼンバーグさんの家に招待されたりと、たくさんの人に出会い、たくさんの人と知り合いになった。そして、毎週金曜日の夜に寮にかかってくるお誘いの電話と週末のホームステイが本当に楽しかった。

今は“遠いアメリカ”が近く感じられ、いつでも行ける親戚のような気がしている。今度、カラマズーの方が沼津に来た時には、喜んでご案内したいと思う。そして、自分が教える生徒の中からもカラマズーへの訪問者が増え（NICE注：現在カラマズー市の高校に留学中の石塚恵さんは鈴木先生の教え子です）、沼津とカラマズーの友好関係をさらに深めてくれたらなというのが、私の夢である。

TEA TIME
カラマズー滞在記

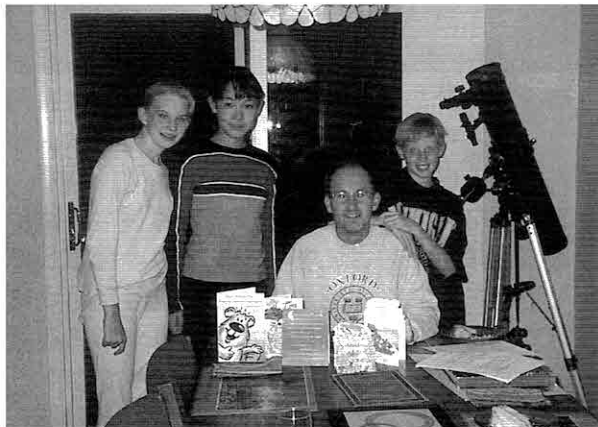
拝啓 NICEの皆様

——カラマズー市派遣留学生 石塚 恵



カラマズーに来て早くも2カ月が経とうとしています。私はやっとこちらの生活に慣れてきました。カラマズーは最近、一段と寒さが増してきて、もうすぐ雪が降り始めるそうです。

ホストファミリーはとてもよい人たちで、14歳のJaneとは部屋を一緒に使っていて、夜は宿題をやりながらよく話をしています。休日にはみんなで12歳のJeremyのサッカー観戦をしたりMallに買い物に行ったりしています。10月の初めには、ミシガン湖北部のTraverse Cityに小旅行に連れて行ってもらいました。そこには、おじいさんの家があり、ミシガン湖を眺めたり湖畔のボートでSailingを楽しみました。



学校では、アメリカ文学、コーラス、タイピング、クッキング、バイリンガルスキル、数学の授業をとっています。アメリカ文学の授業では、長い文章を読んだり先生の話聞き取るのが大変ですが、徐々に慣れてきました。また、日本では苦手だった数学が、こちらではテストでクラスのトップになったりしました。

バイリンガルスキルのクラスには、メキシコ

出身の子が多くいて、みんなすごく英語が上手です。友だちもできて、カフェテリアで一緒にお昼を食べています。

週2回、バレーボール・コンディショニングに行っています。バレーボールはWintersportなので、今はまだウエイトリフティングなどが中心ですが、11月にはTryout（選抜試験）を受けてチームに入るつもりです。

この間、State Honor Choirというオーディションを受けたら、見事受かりました。カラマズーのいろいろなハイスクールの生徒が集まるコーラス団で、大きなコンサートが開かれるそうです。

もうすぐHalloweenです。私は友だちと一緒に“TRICK OR TREAT”に行く予定です。

そんなわけで、私は今のところ何の問題もなく、こちらの生活を楽しんでいます。

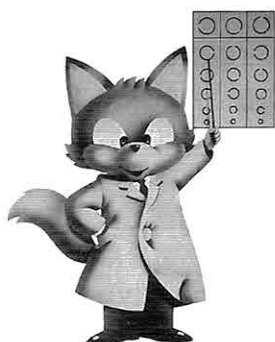
〈10月23日、カラマズーにて〉

♡TEA TIMEへの投稿をお待ちしています♡

異文化体験談や海外諸国紀行文などを原稿にしてお寄せください。

原稿（1,200～1,500字）は手書きでもかまいません。写真や地図など資料があれば添えてください。

なお、会報は、5・8・11・2月に発行します。原稿はNICE事務局で随時受け付けています。


静岡東部のCONTACTなら
CONTACT in グループ
沼津

沼津駅前パレットビル9F（旧ニチイビル）

☎0559(62)5670(代)

三島

三島市広小路駅前（ミスタードーナツ横）

☎0559(81)1519(代)

御殿場

御殿場市川島田永原 並木（勝俣眼科ビル内）

☎0550(84)2525(代)

**“今までも
これからも”**

NICE イベントインフォメーション

〈いずれも申込み・問合せはNICE事務局 ☎34-2529〉

国際交流ボランティア講座

国際交流や国際協力のボランティア活動について考える講座が、静岡県東部地域で4回にわたり開催されます（静岡県国際交流協会主催、NICE共催）。1回目は沼津が会場となります。

★1回目「講演会」

とき 12月13日(土)、13時30分～15時30分
ところ ホテル沼津キャッスル（日の出町）
講師 マリ・クリスティエヌさん（AWC・アジアの女性と子供ネットワークの会・代表）
テーマ マリと語ろう ― アジアの女性と子どもたち（三島市在住のボランティア・小松幸子さんとの対談もあります）

参加費 無料

定員 250名（申込先着順）

※既に11月17日から申込受付を開始していますので、予約状況はお問い合わせください。

★2回目「日本語でボランティア!？」

とき 1998年1月25日(日)
ところ 富士市保健女性センター
内容 ①公開日本語模擬授業（11時～12時）
 ②講演会「トラブルから学ぶ異文化理解」（13時～14時30分）
 ③ワークショップ「日本語ボランティアを考える～よりよい地域づくりのために～」（14時30分～15時30分）

定員 ①=30名、②③=80名 参加費無料

※2回目の講座の申込みと問合せは、直接、静岡県国際交流協会 ☎054-221-3355、または富士市国際交流協会 ☎0545-52-0995へ

★3回目「外国から見た日本・海外の教科書展」

とき 1998年2月15日(日)、13時30分～16時
ところ 韮山町・時代劇場

内容 在住外国人による講演と分科会

★4回目「ボランティア・ラウンジ」

とき 1998年2月22日(日)、13時30分～16時
ところ 富士宮市役所

内容 国際交流ボランティアの仲間づくり

※3・4回目の定員や申込方法は、行事内容が明確になりましたらNICE事務局および県東部地域交流プラザ内「NICEレターケース（本号8頁参照）」にチラシを用意します。

X'masパーティーにご参加を!

在住外国人などを交え、NICEのクリスマスパーティーを開催します。

とき 12月13日(土)、19時～21時
ところ エスタシオンヌマツ平安閣（下香貫上障子）

内容 生バンド演奏、ダンス、ギター演奏ほか

参加費 日本人は2,000円、外国人は2,000円または料理の持参

定員 80名程度（要申込）

申込締切 12月8日(月)

※お知り合いの外国人をお誘い合わせてご参加ください。

国際交流サロンPART 4 「聊天! 快樂 台湾茶」 ～台湾茶を楽しもう～

異文化を肌で感じる国際交流サロンの4回目は、「台湾のお茶」をテーマに開催します。

とき 1998年1月18日(日)、14時～16時
ところ 第一地区センター（第一小学校内）

内容 台湾茶の種類と入れ方の紹介

講師 渡辺スーチンさん

参加費 無料

定員 30名（申込先着順）

※12月16日(火)から申込受付を開始します。

「春節祭」で中国のお正月を慶祝!

中国の旧正月を祝う「春節祭」に参加しませんか。

とき 1998年2月1日(日)、13時～16時
ところ ピア・オオトミ（下香貫島郷）

内容 軽食（餃子ほか）、歌、ゲーム、踊り、太極拳ほか

参加費 1人500円（当日に集めます）

定員 300名（要申込）

※スタッフも募集中です。12月15日(月)にスタッフ会議を行いますのでご参加ください。

国際交流なんでも情報室

意見交換会「NICEの国際協力」にご参加ください

日本の役割として開発途上国への援助が求められている中、NICEでも国際協力・支援の活動を前向きに考えていこうと、今、その取り組みについての研究をしています。

しかし、この分野に関しては、まだ情報や会員の声が多く、その方向性が明確になっていないのが現状です。

そこで、NICEの国際協力活動について会員の皆様と一緒に考える意見交換会を開催します。

途上国のために何かをしてみたいと思っている方、関心や意見・提言をお持ちの方、経験のある方、どうぞ自由にご参加ください。

とき 1998年2月12日(木)、19時～21時

ところ 沼津市民文化センター第2練習室

内容 ・国際協力って何だろう？
・NICEができる活動とは？ など

参加費 無料

定員 50名程度(要申込)

申込みと問合せ NICE事務局 ☎34-2529

会報掲載の広告募集中！

会社や商店等の名刺広告、募集告知など、営利・非営利は問いません。広告料は2,000円～。詳しくはNICE事務局までどうぞ。

NICEの情報ケースを新設しました

NICEの情報を広くPRするためのパンフレットケースと、会員あての通知物を備えたレターケースを、県東部地域交流プラザ“パレット”(沼津駅南口・旧ニチイ3階)の一角に設置しました。

会報や入会案内書、行事案内、毎月の活動スケジュール表などを常備していますのでご利用ください。なお、パレットの開館日時は、火～日曜日の9時～21時です。

ビデオ・書籍をご利用ください

海外旅行先でのトラブル解消対策を紹介した英会話ビデオと、国際交流マナーやプロトコールについての書籍を購入しました。外国に出かける際などにお役立てください。

○ビデオ (VHS)

「海外旅行のトラブル～その時あなたは～」

①空港・ホテル編 (30分)

②レストラン・ショッピング編 (30分)

③チェックアウト・帰国編 (30分)

○書籍

「現代プロトコール わかりやすい国際交流マナー」

※利用は無料です。

問合せ NICE事務局 ☎34-2529

国際交流

マナー

◆箸を使う食事◆

日本でも中国料理や韓国料理を食べる機会がありますが、箸を使う同じ文化といってもマナーには微妙な違いがあります。

中国料理では、大皿に盛られた料理を取り分けて食べるのが普通。取り皿は持ち上げずに置いたまま、料理を盛ったり箸をつけたりします。

韓国料理では、箸はおかずを食べるとき、スプーンはご飯と汁物を食べるときに使います。ご飯を箸で食べたり、汁物の中に箸を入れたりしてはいけません。また、器は持ち上げずに手を添えるだけにします。汁物の器に口をつけてもいけません。

中国料理も韓国料理も、食べ残してもいっこうにかまいません。食べられないほど出すのが用意する側の心得ですので、「もう食べられません」という表現は失礼にはあたりません。

『現代プロトコール (山本節子著、ぎょうせい刊)』より抜粋